

東洋刃物にTOBへ、半導体関連のフェローHDが友好的買収 | 河北新報オンラインニュース

2022年6月3日 21:27

半導体関連製品を手がけるフェローテックホールディングス(HD、東京)は3日、持ち分法適用関連会社で産業用刃物製造の東洋刃物(富谷市)に対する株式公開買い付け(TOB)を実施し、完全子会社化すると発表した。東洋刃物は賛同を表明しており、友好的買収となる。TOBが成立した場合、東証スタンダード上場の東洋刃物は上場廃止となる。

東洋刃物は2019年、フェローHDと資本・業務提携を締結して、中国を中心とした海外への産業用刃物の販売強化を図ってきた。フェローHDの広報担当者は「この3年間、互いの事業で相乗効果を発揮できた。協力関係を一層強めるため、両社の利害関係が一致した」と説明した。

フェローHDによるTOBの期間は6日～7月15日。買い付け価格は1株当たり2254円で、21億5700万円を投じる。3日終値の1810円を約24%上回る。

同社は資本・業務提携の際、東洋刃物株を47万6600株取得。現在の所有割合は33・24%で、筆頭株主になっている。応募によって完全子会社化に必要な所有割合3分の2(66・67%)を上回らない場合、不成立となり買い付けしない。買い付け上限は設定していない。

東洋刃物の保原晶執行役員管理部次長は「業績は悪くないが、将来飛躍するための判断だ。中国での製造・販売面の協力強化、資金調達の安定化、人材の育成・確保に効果がある」と説明した。

東洋刃物は3日、新型コロナウイルスによる中国子会社の操業遅延、原材料高騰などを理由に、20～22年度の中期経営計画を見直すと公表した。